

祝 辞

令和八年度の職業能力開発総合大学校の入学式に当たり、一言お祝いの挨拶を申し上げます。

新入生の皆様、ご入学、誠におめでとございます。我が国の人材育成を担う中心的な機関である大学校に入学されたことを、大変喜ばしく、心より歓迎いたします。また、ご家族、関係者の皆様にもお慶び申し上げます。

今日、我が国は、人口減少や産業構造の転換、デジタル化・脱炭素化の進展など、かつてない変化に直面しています。

こうした中、技術革新を支え、ものづくりの現場で技能や技術、知識を継承するとともに、次代の人材を育成していくことは、これまで以上に重要となっています。

政府としても、働く方々の学び直しを支援し、成長分野に対応した高度な技能習得等を促進するため、社会全体で職業能力の向上を進めていきます。

働く人が生涯を通じて能力を高め続けられる仕組みづくり、デジタル分野や環境分野に対応した技能の強化などの実現に向けては、「現場を理解し、技術を伝えられる人材」が求められています。

新入生の皆さんには、大学校で実践的な学習を積み重ねることにより、高度な知識・技術・技能をトータルに修得した技術者、「ものづくりイノベーター」として成長し、将来、我が国の基幹産業であるものづくりの現場をはじめとし、技術、技能の伝承と人材育成を積極的に担っていく牽引者として活躍されることを切に願っています。

あわせて、大学校で過ごす日々の中で、先生方や仲間との交流を通じて、多様な価値観に触れ、人間的な成長を遂げていただきたいと思えます。そうした経験が、将来の職業人生において、新しいことに挑戦し目標を実現するための「志」となり、皆様が歩んでいく道を力強く拓いていくことでしよう。

最後に、三平校長をはじめ、大学校の教職員・関係者の皆様におかれましては、引き続き新入生の成長にご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日ご臨席の皆様、ますますのご健勝とご発展を祈念し、お祝いの言葉と致します。

令和八年四月六日

厚生労働大臣 上野 賢一郎